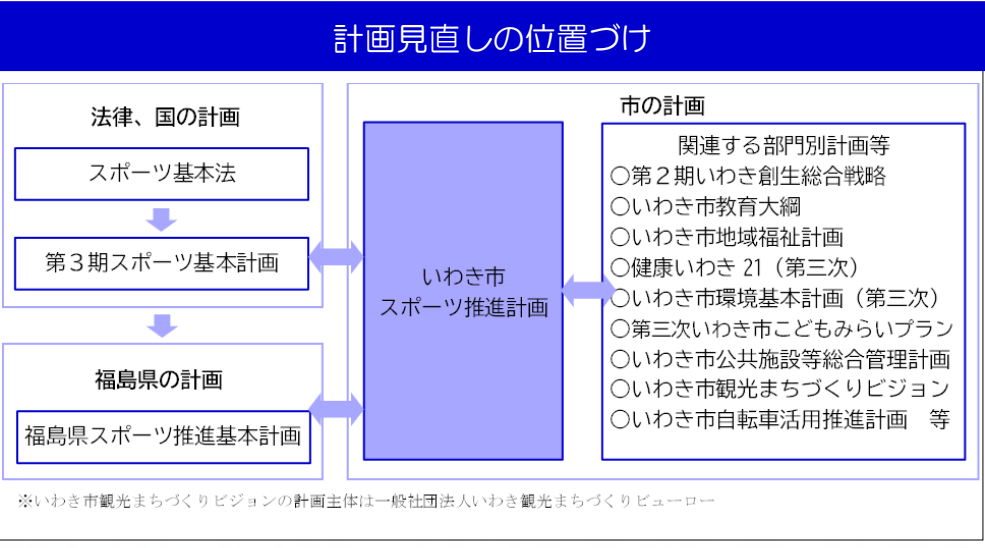


計画見直しの方針

今回は、中間見直しであり、市民のスポーツ活動の現状を把握するために実施したアンケート結果については、地域別、世代別など属性分布に配慮した調査が実施できなかったことから、「参考値」といたします。

計画策定時に掲げた基本方針「スポーツでつながるまち いわき」をめざし課題解決に必要な【参加促進・基盤整備・地域活性化】について、10の基本目標を継承しつつ、国の第3期スポーツ基本計画や県のスポーツ推進基本計画を反映し、さらに、現計画策定後の現状、社会情勢を踏まえた修正を行いました。

計画見直しの位置づけ



法律、国の計画
スポーツ基本法
↓
第3期スポーツ基本計画
↓
福島県の計画
福島県スポーツ推進基本計画

市の計画
関連する部門別計画等
○第2期いわき創生総合戦略
○いわき市教育大綱
○いわき市地域福祉計画
○健康いわき 21（第三次）
○いわき市環境基本計画（第三次）
○第三次いわき市こどもみらいプラン
○いわき市公共施設等総合管理計画
○いわき市観光まちづくりビジョン
○いわき市自転車活用推進計画 等

いわき市
スポーツ推進計画

※いわき市観光まちづくりビジョンの計画主体は一般社団法人いわき観光まちづくりビューロー

計画の期間

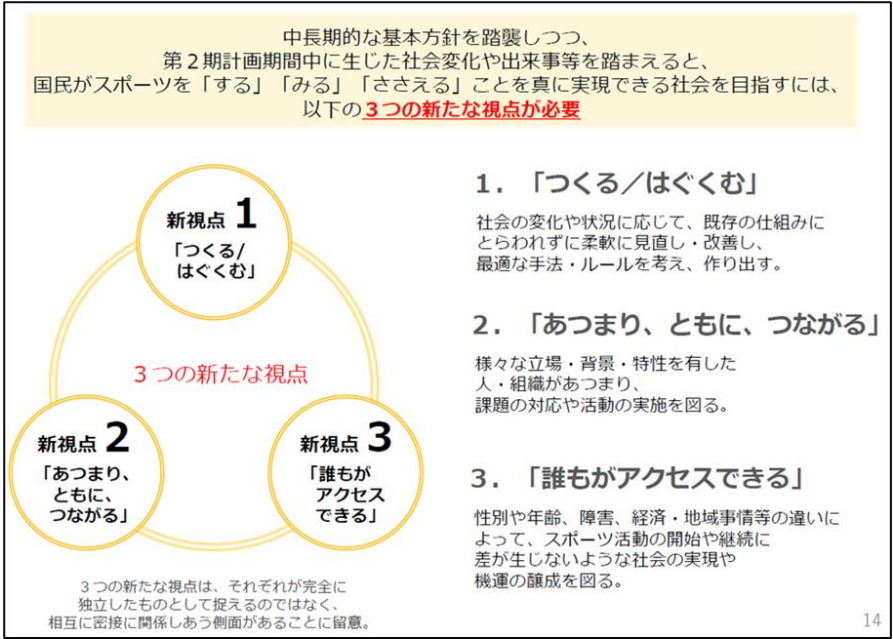
本計画の期間は、令和3年度から令和12年度までの10年間とします。
なお、本市を取り巻く社会経済情勢の変化や計画の進捗状況等进行分析・評価し、必要に応じた見直しを、5年を目途に行うものです。

計画	年度	令和3 2021	令和4 2022	令和5 2023	令和6 2024	令和7 2025	令和8 2026	令和9 2027	令和10 2028	令和11 2029	令和12 2030
いわき市スポーツ推進計画						見直し					
いわき創生総合戦略											
国のスポーツ基本計画											
県のスポーツ推進基本計画											

見直しの方法（P 6～P24）

- 各種データから判明する現状の把握
 - ・ スポーツの実施状況等に関するアンケート調査
 - 回答数272件 地域別、世帯別など属性分布に配慮した調査を実施できず、回答数も少ないため「参考値」とする。
 - ・ 「新体力測定」など各グラフ等の差し替え
- 社会情勢の反映
 - ・ 現計画策定時から現在までの、社会情勢の変化
 - 新型コロナウイルス感染症の感染拡大によってスポーツ活動が制限されたことなどを踏まえた、スポーツ活動の変化
 - 市内のスポーツ施設の整備方針等
- 第3期スポーツ基本計画/スポーツ推進基本計画 の反映
 - ・ 基本的な考え方、方針等を現計画に反映

中長期的な基本方針を踏襲しつつ、第2期計画期間中に生じた社会変化や出来事等を踏まえると、国民がスポーツを「する」「みる」「ささえる」ことを真に実現できる社会を目指すには、以下の3つの新たな視点が必要



新視点1 「つくる/はぐくむ」
社会の変化や状況に応じて、既存の仕組みにとらわれずに柔軟に見直し・改善し、最適な手法・ルールを考え、作り出す。

新視点2 「あつまり、ともに、つながる」
様々な立場・背景・特性を有した人・組織があつまり、課題の対応や活動の実施を図る。

新視点3 「誰もがアクセスできる」
性別や年齢、障害、経済・地域事情等の違いによって、スポーツ活動の開始や継続に差が生じないような社会の実現や機運の醸成を図る。

3つの新たな視点は、それぞれが完全に独立したものとして捉えるのではなく、相互に密接に関係しあう側面があることに留意。

- 各団体や施設等の記載内容を確認し、最新情報に修正
 - ・ スポーツ少年団の登録数や施設の利用者数などを最新値に更新
 - ・ スポーツクラブ等の情報や施設の整備状況などを修正

現状から見た課題（P25～P27）

- 3つの課題ごとに、現状把握した内容を反映すると…
- 生涯にわたってスポーツに取り組むために
 - ① 子どもの健康な体づくり【新体力測定等】
 - ・ 小中学生の体力 全国、福島県の平均値を大きく下回る
 - ・ 肥満者割合 国との対比 男子：小5 1.5倍 女子：小2 1.7倍
 - ・ スポーツ活動の重要性を発信し、活動を支える。
 - ② 働く世代・子育て世代のスポーツの機会
 - ・ DX 【スポーツ基本計画】 デジタル技術を活用した新たなスポーツの機会等の創出
 - スポーツ環境を整えるために
 - ① スポーツ指導者の育成・充実【スポーツ基本計画等】
 - ・ 中学校部活動の地域展開等を想定
 - ・ 高齢化等に伴う指導者数減少を踏まえた、指導者の育成
 - ② スポーツ施設・設備の充実
 - ・ 市の個別施設計画を基に、利用者が安全かつ安心して利用できる施設を、適正配置できるあり方を検討し、維持管理することが必要
 - 地域活性化につなげるために【スポーツ基本計画等】
 - ② 東京2020大会とRWC2019の大会レガシーの継承
 - ・ 本市独自のスポーツレガシーの継承・発展に繋がる取り組みが必要。
- ◎ 上記課題に、スポーツによる地域振興、地域共生の考え方【スポーツ基本計画等】を踏まえ、各スポーツ施策の推進に反映

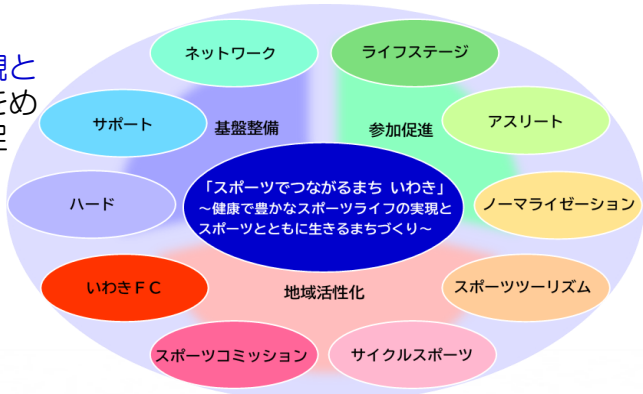
スポーツ施策の推進（P32～P43）

- 「生涯スポーツ活動の推進」
 - ・ スポーツを行う機会の創出とともに、子どものスポーツへの関心を高めるため、家庭におけるスポーツ環境も影響するため、保護者と子どもがともに取り組むスポーツの実施や、情報を発信する。
 - ・ スポーツ実施率が低下する「働く世代や子育て世代」や「女性」がスポーツに取り組むことができる環境づくり。
 - ・ 少子高齢化や新型コロナウイルス感染症の影響で地域コミュニティが減退する中で、スポーツ振興の重要性や、DXの推進。
- 「競技スポーツの推進」 → 修正なし
- 「障がい者スポーツの推進」 → 修正なし
- 「スポーツに関する人・まち・情報のネットワーク強化」 → 修正なし
- 指導者・ボランティアの育成
 - ・ トップアスリート育成のために必要なスキルの高い指導の育成
 - ・ 指導意向のある指導者の発掘や、選手のセカンドキャリアとしての指導者の活用
 - ・ 中学校部活動の地域展開への対応
 - ※ 今後は、中学校部活動の地域展開などを想定し、教育委員会と連携しながら、地域のスポーツクラブや競技団体とともに、子どもたちが将来にわたって継続的にスポーツ活動に親しむ機会を確保できるよう、指導者の確保・養成に取り組む。
- 施設の整備・管理運営の推進 → 個別施設計画の文言を追加
- 地域資源を活用したスポーツツーリズムの推進 → 修正なし
- 自転車を活用した健康増進と地域資源を活用したサイクルスポーツの推進
 - ・ 「ツール・ド・いわき」「ふくしま浜通りサイクルルート」について追記。
- スポーツ合宿・イベントの誘致による地域活性化 → 修正なし
- いわきFCとの連携 → 修正なし

計画の基本方針と目標（P28～P31）

「スポーツでつながるまち いわき」
「健康で豊かなスポーツライフの実現とスポーツとともに生きるまちづくり」をめざし、課題解決のために必要な【参加促進・基盤整備・地域活性化】について、10の基本目標の観点を整理。

変更しない



その他の修正

- いわき市スポーツ協会の表記
いわき市体育協会が、令和8年4月よりいわき市スポーツ協会に名称変更することを踏まえ修正
- 令和12年度の改定に向けて
現行の計画期間が終了する令和12年度に向けて、改定の考え方を記載（P46 第5章計画の進行管理 3 改定に向けて）

今後のスケジュール

- 令和8年1月～ パブリックコメントの実施
- 令和8年2月13日(金) 第3回中間見直し検討委員会
- 令和8年3月 スポーツ推進審議会に提出